

若 狭 公 民 館

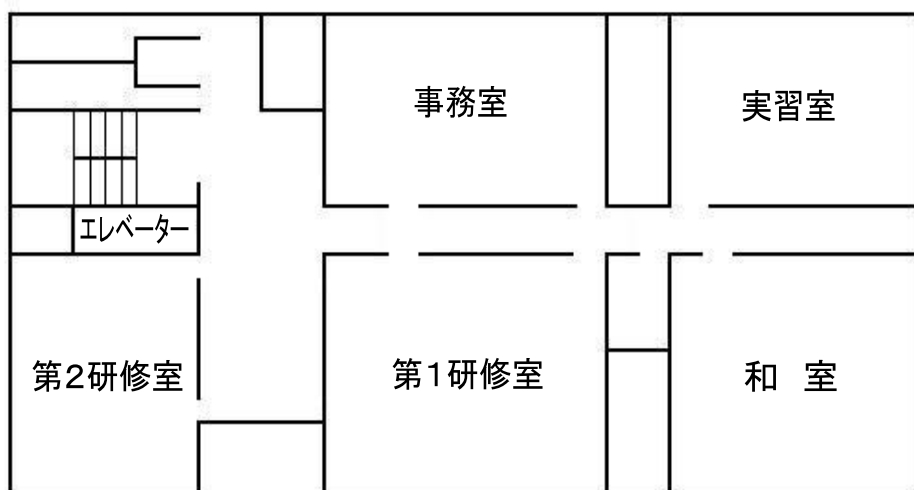
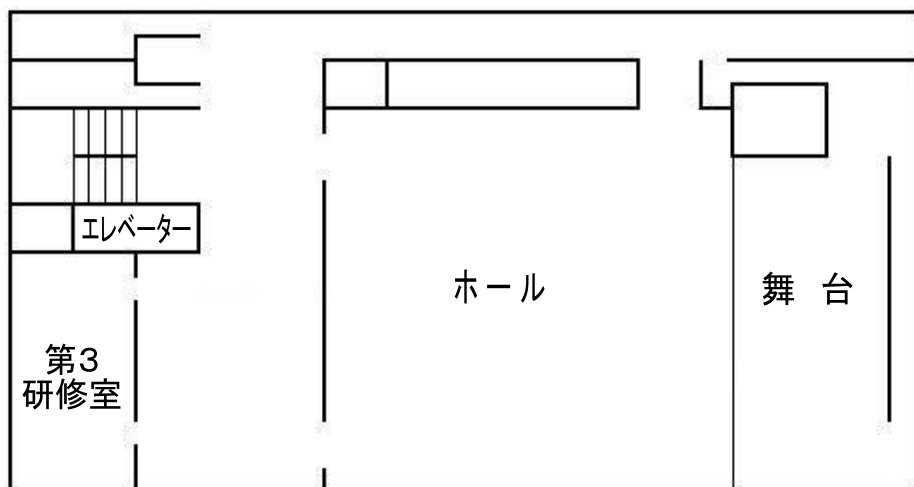


〒900-0031 那覇市若狭 2-12-1
TEL 917-3446 FAX 869-8624
(URL)
<https://cs-wakasa.com/kouminkan/>



若狭公民館 HP

利 用 施 設 の ご 案 内



部屋名	収容人数	用 途 (備 品)
ホール	200～250 人	講演会・発表会・音楽会・展示会等 (ピアノ・イス等)
第1研修室	60 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
第2研修室	30 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル・電子ピアノ)
第3研修室	20 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
実 習 室	20 人程度	調理実習・その他実習 (料理用器具等)
和 室	20～30 人 (12 畳×2)	お茶・生け花・着付け (茶道設備)

I 若狭公民館の沿革

旧若狭市場跡に完成した当施設は、国道58号線以西でははじめての文化施設である。平成元年4月に公民館・図書館建設用地として、用度管財課より教育委員会へ移管され、建設について地域住民、利用団体からの意見・要望を聴取し、平成3年6月22日工事着工、平成4年3月19日竣工した。

建物は若狭小学校、若狭公園に隣接し、1階は図書館、2・3階が公民館で地域住民の学習の場として誕生した。特に生涯学習に関する情報等を提供する事業として、パーソナルコンピューターと電話回線を利用したパソコン通信を県内の行政機関ではじめて導入した。

平成16年度より公募による非常勤館長を配置し、平成22年度より公民館業務の一部をNPO法人に委託している。平成27年度より指定管理者制度を導入し、NPO地域法人サポートわかさが指定管理者となった。

平成3年11月1日	若狭公民館の発足に伴い、館長 高良繁が発令された。
平成4年6月2日	若狭公民館及び図書館の開館式が行われた。
6月3日	若狭公民館及び図書館が開館。
6月10日	利用団体サークル（32団体）への施設の提供が始まった。
8月4日	生涯学習情報提供事業「NAHAあけもどろネット」開局式が行われた。
平成5年3月5日	第1回若狭公民館まつりが開催された。
平成6年11月7日	若狭公民館利用団体連絡協議会が結成された。
平成7年4月1日	館長 高良繁配置換えにより、館長 宮良毅が発令された。
7月14日	社会教育優良施設として県教育委員会より表彰を受ける。
12月1日	多年に亘り優れた公民館活動が認められ、沖縄県公民館連絡協議会より表彰を受ける。
平成8年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。
平成10年4月1日	館長 宮良毅配置換えにより、館長 阿波連寛が発令された。
平成11年10月27日	第52回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成13年4月1日	館長 阿波連寛配置換えにより、館長 高里洋介が発令された。
平成16年4月1日	館長 高里洋介配置換えにより、館長（非常勤）山田民子が発令された。 非常勤館長配置に伴い、主査1増、公民館主事1減。
平成17年4月1日	社会教育指導員1減。
平成19年4月1日	館長（非常勤）山田民子任期満了により、館長（非常勤）宮城潤が発令された。
平成22年1月12日	第3回全国公民館ホームページコンクールで最優秀賞を受ける。
平成22年4月1日	館長（非常勤）宮城潤任期満了により、館長 津嘉山剛が発令された。
平成22年4月1日	業務の一部をNPO法人地域サポートわかさ（理事長 早川忠光）に委託された。
平成23年1月21日	第3回全国公民館報コンクールで『広報わかさ』が優秀賞を受ける。
平成23年4月1日	館長 津嘉山剛配置換えにより、館長 平良恒次が発令された。
12月13日	第4回全国公民館ホームページコンクールで最優秀賞を受ける。
平成24年4月1日	館長 平良恒次配置換えにより、館長 下地敏雄が発令された。
平成26年1月6日	第5回全国公民館ホームページコンクールで優秀賞を受ける。
4月1日	館長 下地敏雄配置換えにより、館長 平良恒次が発令された。
平成27年4月1日	指定管理者制度の導入により、NPO地域法人サポートわかさが指定管理者（理事長 早川忠光）となる。
平成28年1月8日	第1回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて最優秀賞を受ける。
平成28年12月21日	第6回全国公民館報コンクールにおいて『広報わかさ』が優良賞を受ける。
平成30年1月8日	第2回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて最優秀賞を受ける。
平成30年3月8日	第70回優良公民館（文部大臣表彰）において「最優秀館」に選ばれる。

平成30年12月13日	第7回全国公民館報コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和 2年 1 月	第3回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和 3年 1 月	第8回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。
令和 3年12月	第4回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受ける。
令和 4年12月	第9回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。
令和 6年 1 月	第5回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受ける。

Ⅱ 令和7年度若狭公民館事業目次

1	学習風景（写真）	103
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
◇	パーラー公民館 平和講話「少女の見た沖縄戦」	104
◇	ユーチュー部 2025	105
◇	南の島の南極教室2025	106
〔2〕	成人講座	
◇	ネパール献血者協会4周年記念“命を分かち合う献血”	107
◇	リッカ！ヤールーキャラバン！事前合同研修会	108
◇	教育協働アカデミー定例会	109
〔3〕	健康講座	
◇	あさるんぼ♪	110
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
◇	new!喫茶むすぶ	111
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
◇	科学のびっくり箱！なぜにレクチャー「空力ボディー」	112
〔2〕	青年講座	
◇	うみそら上映会実行委員会	113
〔3〕	放課後子ども教室	
◇	若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」	114
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
◇	子どもが自分で動き出す「声かけ」のヒント	115
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
◇	ネパール ニューイヤー パーティー 2025/2082	116
◇	うみそら上映会 in 若狭海浜公園	117
◇	あけぼの・うみそら上映会	118
◇	第27回 若狭地域文化祭	119
◇	うまんちゅすりてい CGG年末美化清掃 プラスONE	120
◇	新春もちつき大会2026	121
◇	なは防災キャンプ'25 春（那覇市立曙小学校）『夜の学校deお泊まりキャンプ』	122
◇	なは防災キャンプ'25 夏（那覇市立若狭小学校）『夏休み前の学校宿泊体験！』	123
◇	春休み体験スタンプラリー	124

〔2〕 提案事業

◇なはまちづくり部	1 2 5
◇アート部 2 0 2 5	1 2 6
◇多文化カフェ・わかさ 2 0 2 5	1 2 7
◇無料英会話教室「ELIPO」	1 2 8
◇一品持ち寄り「朝食会」	1 2 9
◇公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所運営事業	1 3 0

7 公民館まつり

◇第33回若狭公民館まつり	1 3 1
---------------	-------

1. 学習風景



市民講座

パーラー公民館平和講話「少女の見た沖縄戦」



高齢者学級

New! 喫茶むすぶ



少年教室

科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー



青年講座

うみそら上映会実行委員会



地域連携事業

春休み体験スタンプラリー



提案事業

なはまちづくり部

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

講座名 タイトル		パーラー公民館 平和講話「少女の見た沖縄戦」								
事業概要		若狭公民館では「戦後80年」を節目に、地域の平和への思いを共有する場として、上原美智子先生（曙小学校区まちづくり協議会 名誉会長／パーラー公民館 初代館長）による戦争講話を開催。那覇空襲や防空壕での避難生活など、上原先生が語る貴重な体験は、戦争の悲劇と平和への強願いを次世代へ伝える大切な学びの機会を作る。								
現状・課題		戦後80年を迎える現在、戦争を実際に体験した世代の高齢化が進み、「語り部」として体験を語れる方々は年々少なくなっている現状。貴重な証言が失われつつある中、若い世代に戦争の記憶をどう伝えていくかは、地域社会にとって大きな課題である。								
事業目的 めざす姿		・戦後80年という節目に、戦争体験者の証言を通して平和の大切さを伝える ・地域住民、特に子どもたちが戦争の記憶と向き合う機会を創出する ・地域ぐるみで平和について学び、語り合う文化を育てる								
対 象		曙小学校区の地域の方々、子どもたち、大人たち								
募集人数等		申込：29人 （うち受講決定数29人） 参加延べ人数：29人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月21日(日)	14:00	～	16:00	曙公園	29	5	24	－
内容	01	講話とパネル展示								
講 師		上原美智子（曙小学校区まちづくり協議会 名誉会長／パーラー公民館 初代館長）								
【講座の様子・感想】 ・沖縄戦を体験した方から直接お話を聞く機会は減りつつあり、戦争があったことを後世に伝えて行くことの難しさを実感する中で今回沖縄戦の体験者から直接お話を聞くことが出来たのはほんとに良かったと思います。 ・語り部まではできないけれど、今回のような場がある事で、自分の体験を話す機会がある、ということは貴重だと思いました。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・小学生～高齢者まで多世代が参加し、幅広い層に届けることができた。 ・動画発信は今後も視聴可能、時を越えて平和への学びを届けられる。 ・「戦争体験者の話を聞き、これを誰かに伝える事ができればと思った」という声が寄せられ、受け止めた体験を次に渡そうとする姿勢が表れている。										







2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		ユーチュー部 2025								
事業概要		在住外国人の生活目線で自分の思いを、YouTubeで発信する。誰でも気軽に見られる動画の活用方法を学んでコミュニケーションスキルの向上をはかる。								
現状・課題		若狭公民館の界限には多くの外国人が暮らしているが、外国人同士、地域住民との交流の場は少ない。言語の壁は大きいことから、言語以外に気持ちを伝える手段が必要とされている。								
事業目的 めざす姿		在住外国人および地域住民が、自分の伝えたいことを動画で伝えられるようになる。新たなコミュニケーションスキルを得る。見た人は、在住外国人の思いや視点に気づき、交流するきっかけとなる。グループワークで共に活動した地域住民と外国人は友人関係ができる。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		申込：16人 参加延べ人数：38人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	7月9日(水)	19:00	～	21:00	実習室	12	3	8	1
	02	7月16日(水)	19:00	～	21:00	実習室	8	1	6	1
	03	7月23日(水)	19:00	～	21:00	実習室	9	1	7	1
	04	7月30日(水)	19:00	～	21:00	オンライン	5	1	4	0
	05	8月6日(水)	19:00	～	21:00	実習室	4	0	3	1
内容	01	画面の作り方・講評								
	02	編集の仕方・講評								
	03	動画の撮り方・講評								
	04	ユーチューブに公開・講評								
	05	補講								
講 師	藤井光（アーティスト）									
【講座の様子・感想】										
・知らなかった世界が知れて楽しかった。										
・無料なので常識的なことを教えると思いましたが、有料でも良いくらい素晴らしい知識を学べた。										
・講座では、画面構成、動画撮影、編集、YouTube公開までの一連の流れを実践的に学び、講師からの講評を受けながら制作を進めた。										
・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・自分の思いを伝えることをテーマに告知したところ、作りたいものが明確な人の受講が多かった。確実にスキルアップしている様子が伺えた。										
・講座を通して、撮影・編集・公開までの基本的な動画制作スキルを身につけることができた。										
・参加者同士で作品を共有し講評を受けることで、表現力や発信力の向上が見られた。										

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

講座名 タイトル	南の島の南極教室2025								
事業概要	南極観測や観測隊員の生活について学ぶ講座を開催し、南極の自然環境や研究活動の重要性を伝える。講座では、観測活動の遂行と、極地における共同生活の記録、南極の生態系などを紹介し、参加者が南極を身近に感じられるよう工夫する。さらに、地球環境の変化と南極の関係について学ぶことで、環境保全への意識を深める機会とする。								
現状・課題	南極の観測や観測隊員の生活について学ぶ機会は限られており、多くの人にとって馴染みが薄い。また、南極の環境や研究活動が地球規模の課題と深く関わっていることを知る機会も少ない。このような状況の中で、南極の自然や観測の意義を学ぶ場を設けることで、環境問題や科学技術への関心を高め、広い視野で物事を考える機会をさらに充実させていくことが課題である。								
事業目的 めざす姿	南極の環境を身近に感じ、環境保全の重要性への関心を高める。また、地球規模の視点で物事を考え、行動するきっかけとし、持続可能な社会の実現に向けた意識を育むことを目的とする。								
対 象	那覇市在住、在勤、在学の方、関心のある人 小学3年生以下は保護者同伴								
募集人数等	申込：100人 参加延べ人数：100人								
日時 場所	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	こども
	12月8日(月)	14:00	～	16:00	若狭公民館3Fホール	100	9	37	54
内容	☆講座プログラム 司会：藪 伸児 ①司会による挨拶 ②各南極観測隊員の紹介 ③南極クイズ（クイズで回答した後、解説や豆知識を教えていく。） ④子どもたちからの質問 ⑤南極の氷の音を聴く ☆パネル展示 パネルや南極の石、ブーツなど								
講師名	馬場 壮太郎、大下 和久、河原 恭一、藪 伸児、渡邊 研太郎、行松 彰 (南極観測隊OB)								
【講座の様子・感想】									
・ 隊員の方々からお話が聞けるとの事で、目の前に「南極大陸」が浮かぶ様な不思議な感覚で、楽しく、わくわくとした時間でした。又、隊員の方々が、沖縄に住んでいらっしゃる事に、南極が近くに感じられています。 ・ 遠くから来た南極の氷に感動しました。とても良かったです。また次回も参加したい。 ・ アンケート結果（満足度）92％									
【成果】									
・ 隊員の生活環境や南極の自然・生物について、講師6名が専門分野や仕事内容を紹介し、参加者の理解と関心を深めた。 ・ 質疑応答も活発に行われた。 ・ 第65次隊の副隊長・行松彰氏が参加し、オーロラや最近の南極大陸の様子について直接話を聞く機会となった。 ・ 広報は紙媒体や「市民の友」に加え、スクリーンでの配信も行い、対象者のニーズに応じた情報発信が行われていた。									

2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		ネパール献血者協会 4 周年記念 “命を分かち合う献血”								
事業概要		ネパール献血者協会設立 4 周年を記念して献血を啓発するイベントを開催する。公民館が関わることで、広く周知する。								
現状・課題		外国人は日本国内にて、献血をしたくても言語の壁や様々なルールがあり、献血しづらい状況がある。献血はいつでも、だれでも、どこでもできることが知られていない。								
事業目的 めざす姿		地域住民は、在住外国人の献血を広める活動をしていることを知り、多文化共生社会について意識するようになる。外国人は、献血者協会の活動を知って、自分たちも献血をできると知るとともに、地域での関わり方を考えるきっかけを得て、地域で活動できるようになる。国籍を超えて助け合う多文化共生する地域社会を目指す。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		参加延べ人数：52人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月14日(土)	10:00	～	11:00	パレットくもじ前広場	41	6	20	15
	02	6月14日(土)	11:30	～	12:30	若狭公民館第2研修室	11	4	7	0
内容	01	(10時～11時) 献血啓発活動、つしま丸児童合唱団合唱								
	02	(11時半から12時半) 報告会：ネパール献血者協会活動報告、沖縄県学生献血推進協議会活動報告/ワークショップ/英語問診表・贈呈式								
講 師		無し								
【講座の様子・感想】										
・献血啓発活動をしている人たちのコミュニティの繋がりができた。 ・同じ目的でこんなに頑張っている人（ラフルさんのような人）と出会えた。活動内容を知れてよかった。 ・ポジティブで意欲のある若い人が沢山いる事が嬉しく学びになった。 ・アンケート結果（満足度）100%										
										
【成果】										
・対馬丸児童合唱団にはじめて参加してもらい、平和の歌を通して、国籍を超えた献血のメッセージを発信することができた。 ・子ども、高校生、大学生、外国人など、普段交わることの少ない人々が集まり、献血を通じて交流する機会となった。 ・ワークショップを通して、献血を広めるための課題や目標を関係者で共有・確認することができた。 ・公民館が関わることで、地域住民が在住外国人による社会貢献活動を知り、多文化共生について考える機会となった。										
										



2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		リッカ！ヤールーキャラバン！事前合同研修会								
事業概要		防災・減災に役立つ知識を楽しく学ぶことで、災害に対する意識啓発を行うとともに多世代が交流できる防災イベントの事前研修会を行う。各まちづくり協議会、自治会、民生委員、包括支援センターを対象に広く呼びかけ、地域内外の人的交流を促すと同時に防災に関するプラットフォーム構築を目的とする。								
現状・課題		防災活動は、年齢や世代を問わず広く地域社会全体で取り組むべき課題だが、現実には各世代間での交流が少なく、特に高齢者と若年層との間に防災に関する情報や意識のギャップが存在すると現状がある。								
事業目的 めざす姿		地域内外での人的ネットワークを構築し、防災活動における情報共有を促進することが、災害に強い地域社会を作る。								
対 象		若狭小学校区の地域の方々・地域・自治会・民生委員・包括支援センター・興味関心のある人								
募集人数等		定員：無し 申込：7人（うち受講決定数7人） 参加延べ人数：7人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月1日(日)	10:00	～	12:30	若狭公民館ホール	7	0	4	3
内容	01	仕組み・開催までの流れを説明・プログラム説明・開催説明会								
【講座の様子・感想】										
・研修会を得て、開催までのイメージができた ・地域にこの研修会で学んだことを持ち帰り、開催を検討したい ・地域と防災をつなげるイベント作りの良い事例を知ることができた ・アンケート結果（満足度）100%										
										
【成果】										
・実演・体験型研修により、参加者が「自分の地域でも開催できそう」と具体的なイメージを持てた。 ・「なまずの学校」などのゲーム型教材が、年齢を問わず理解・参加意欲を高める効果を示した。 ・「開催の進め方」や「企画のコツ」も共有され、ヤールーキャラバンの開催を希望する人の自信につながる研修となった。										
										

2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		教育協働アカデミー 定例会								
事業概要		沖縄県内で活動する社会教育実践者が集い、情報交換や意見交流を行う「教育協働アカデミー」。毎月1回のオンラインミーティングを基本としながら、若狭公民館との共催により、より広い参加者を募る成人講座として対面での不定期開催も行っている。								
現状・課題		住民ニーズや地域課題が多様化・複雑化する現代社会において、縦割りの取り組みだけでは対応が難しい状況がある。分野やセクターを横断する社会教育の役割がますます求められているが、その成果の評価が難しいこともあり、行政内部での意義の共有は十分とは言えない。こうした状況の中、各社会教育施設の現場で模索する実践者同士の交流は少なく、優良事例の共有も不十分な状態が続いている。								
事業目的 めざす姿		沖縄県内で活動する社会教育実践者が集い、各団体の抱える課題や実践事例を共有し、意見交換を行うことで、それぞれの活動のヒントを得ると同時に、現場における知見の蓄積を図る。また、社会教育の意義と役割を改めて認識することで、今後の活動への活力とする。								
対 象		関心のある人								
募集人数等		参加延べ人数：70人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月3日(月)	16:00	～	18:00	若狭公民館 第1研修室	24	9	15	—
	02	8月5日(月)	16:30	～	18:00	若狭公民館 第1研修室	27	14	13	—
	03	12月22日(火)	16:00	～	18:00	若狭公民館 第1研修室	19	11	8	—
内容	01	中国・四国・九州地区 生涯学習実践研究交流会 報告会 ・報告者：山崎 新、大城喜江子、御園楓 ・コーディネーター：井上講四								
	02	島根県益田市のコミュニティスクールと地域づくりの実際 ・ゲスト：谷上 元織氏（島根県益田市立戸田小学校 教頭） ・進行：南 信乃介氏（NPO法人1万人井戸端会議 代表理事／那覇市繁多川公民館 館長） ・コメンテーター：井上 講四氏（教育協働研究所「岳陽舎」主宰）								
	03	コーディネーターが現実を変える？—その意義と可能性— ・ゲスト：上間 哲朗（今帰仁村教育委員会 学校教育課 地域連携コーディネーター） ・コーディネーター：井上 講四（教育協働研究所「岳陽舎」主宰）								
【講座の様子・感想】										
・現在携わっている業務の課題に参考となる内容で、必要な視点や新たな気づきを得ることができ、大変有意義でした。 ・地域づくり・人づくりへの思いに対する“答え合わせ”のような感覚があり、参加者同士の新たな出会いもあって、会そのものの素晴らしさを感じました。										
【成果】										
県外研修での学びの共有、県外ゲストによる実践事例の紹介、コーディネーターとしての実践と留意点など、具体的な事例をもとに学び・共有する場を設けることで、それぞれの活動の可視化が図られると同時に、沖縄県内で活動する社会教育関係者のネットワーク構築にも寄与することができた。各現場で学習機会の提供や地域づくりに取り組む実践者の資質向上は、生涯学習社会の実現に貢献するものである。										

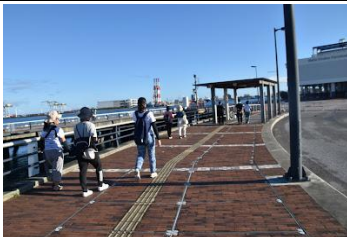






2 成人一般対象事業

〔3〕健康講座

講座名 タイトル		あさるんぽ♪								
事業概要		本事業は、市民の運動習慣を促進し、生活習慣病の予防および改善を目的とする健康講座である。ウォーキングを通じて、参加者が継続的に歩く習慣を身につけることを目指し「ひやみかち那覇ウォーク」への参加を促す。								
現状・課題		那覇市内における運動不足や生活習慣病の増加は依然として大きな課題となっている。特に中高年層においては、継続的な運動機会の創出が求められている状況にある。また、単独での運動は継続が困難であるケースが多く、地域住民同士が交流しながら取り組む運動プログラムの重要性が高まっている。								
事業目的 めざす姿		正しいウォーキング方法を学び、個人に合った歩き方を身につけることを通じて、ウォーキングを日常生活に取り入れることを目標とした。さらに、講座を通じて仲間と励まし合いながら、無理なく継続できる運動習慣を形成することを重視する。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員：20人 申込：14人（うち受講決定数14人） 参加延べ人数：24人 【申込率70%・参加率43%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	9月6日(土)	7:00	～	9:00	若狭海浜公園および周辺地域	5	0	5	—
	02	9月13日(土)	7:00	～	9:00	若狭海浜公園および周辺地域	9	0	9	—
	03	9月20日(土)	7:00	～	9:00	若狭海浜公園および周辺地域	5	0	5	—
	04	9月27日(土)	7:00	～	9:00	若狭海浜公園および周辺地域	5	0	5	—
内容	01	ラクに歩くとは！？								
	02	カカトを転がして歩く！？								
	03	バランスを崩して歩く！？								
	04	リズムに乗って歩く！？								
講 師		花城 伸治								
【講座の様子・感想】 ・どうせ散歩するのなら、ただ歩くよりも、より身体を活かした散歩をしたいと思っていましたので、上記で学んだことを身体に覚えさせるようにしたいです。 ・スタッフの方々が、とてもフレンドリーで親しみやすく、学びも深く大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。 ・アンケート結果（満足度）100% 										
【成果】 ・「カルく、ラクに歩けるからだづくり」を目的に実施し、段階的なテーマ設定で理解を深める内容で構成。 ・参加者からは「散歩をより活かしたい」「普段の歩き方を見直せた」との声があり、学んだことを日常生活に取り入れようとする行動変容も見られた。 										

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		new!喫茶むすぶ			
事業概要		シニア世代の健康寿命の延伸が重要となっている昨今、社会参加が認知症の予防や生き甲斐づくりに最も有効であるといわれている。そこで、喫茶機能と学びをかけあわせ、参加者の交流に重点を置いた学び合いの場を創出する。			
現状・課題		共に活動する仲間としての雰囲気づくりに努め、参加者が積極的に関わり続けられるよう、コミュニケーションを大切にし活動しやすい環境を整えている。参加者が自発的に行動できるよう促しつつ、取り組みを継続していくことが今後の課題である。また、個々のニーズや得意分野に応じた学び合いの場づくりが求められている。			
事業目的 めざす姿		参加者が積極的に社会活動に参加することで、認知症予防や生き甲斐づくりにつながる。参加者同士の交流が、自分の役割や存在意義を感じられるようにし、達成感を感じられるようにする。 自分の居場所を創出する力を養うことができる場となる。			
対 象		那覇市在住、在学、在勤の65歳以上の人			
募集人数等		定員：25人 申込：18人 (うち受講決定数18人) 参加延べ人数：165人 【申込率72%・参加率42%】			
開催期間		令和7年4月～令和8年3月の隔週金曜日			
日時 場所 内容	月	実施(集合)場所	内容	講師	参加人数
	4月	第1研修室	オリエンテーション/薬草調べ(2回)	職員	19
	5月	第1研修室	アロマ /レコード鑑賞(2回)	職員	11
	6月	第1研修室	頭と体トレーニング/絵手紙(2回)	職員	14
	7月	第1研修室	七夕茶会/音楽会(2回)	山田宗民/職員	21
	8月	実習室/第1研修室	調理実習/折り紙/ダンス(3回)	参加者/インターン	25
	9月	第1研修室	手話(1回)	大屋あゆみ	11
	10月	第1研修室	ペーパークラフト①②(2回)	参加者	12
	11月	第1研修室	ちんどん体験/カメラ講座(2回)	職員	11
	12月	第1研修室	canva/クリスマス会(2回)	職員	12
	1月	若狭海浜公園	野草探索(1回)	久手堅美咲姫	10
	2月	和室/第1研修室	まつりの準備/バルーン(2回)	仲宗根麗 (バルーン作家)	12
	3月	第1研修室	虫除けスプレー(1回)	職員	7
【講座の様子・感想】 ・茶話会での皆さんが聞き上手で話し上手なのに感心しました。 ・いいチームワークだった ・薬草の名前、アロマの作り方やカード作りにお茶の作法等々が学べてよかった。友人、知人が増えた。 ・社会参加と友達が増える事です。 ・ここに来ると、自分の世界が少し広がった気がする。 ・アンケート結果(満足度)100%					
【成果】 ・学びの場でありながら、参加者同士の交流が深まり、「なかまづくり」の場として機能 ・講座をきっかけに新たな活動が生まれはじめている。 ・互いに助け合いながら活動することで、参加者が自己実現感・充実感を得られるようになった。 ・受け身の学びから、主体的な関わりと実践へとつながるプロセスが定着					



4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル	科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー「空力ボディ」			
事業概要	次代を担う子どもたちを対象に、「モノづくりの大切さ」や「科学の楽しさ」を伝え、科学技術に対する興味や夢を育むことを目的としたトヨタの出前講座を開催する。			
現状・課題	青少年の理科離れという社会的課題に対して、次代を担う子どもたちを対象に、トヨタ技術会の有志メンバーを講師に迎え科学工作教室を開催する。			
事業目的 めざす姿	専門家から直接話を聞き技術を学ぶことにより、科学技術だけでなくその他様々なことへ探究心が広がる。また、ものづくりをする際に求められる丁寧さを実体験することで、ものごとに真剣にとりくめるようになる。			
対象	那覇市在住・在学の小学4年生から6年生			
募集人数等	定員：28人 申込：39人（うち受講決定数23人） 参加延べ人数：23人 【申込率139%・参加率100%】			
日時 場所	期日	開始	～ 終了	実施(集合)場所
	10月5日(日)	10:00	～ 12:00	若狭公民館ホール
内容	①空気抵抗についてまなぶ。 ②紙で車の模型を作り、ミニ空洞実験装置で数値を測る。 ③専門家にアドバイスをもらって再度測定する。 ④表彰式とふりかえり			
講師	トヨタ技術会の有志メンバー			
【講座の様子・感想】 ・トヨタ自動車の方が愛知県から来て、空気抵抗や車の形について説明してくれた。 ・空気の流れや、空気が流れやすい形・流れにくい形があることを学んだ。 ・実際に車を作って実験を行い、空気抵抗の違いを記録で確かめる活動をした。 ・シールを一つ貼るだけで記録が変わるなど、小さな工夫でも結果が変わることに驚いた。 ・アンケート結果（満足度）95%				
【成果】 ・空気抵抗という科学的な考え方を理解することができた。 ・車の形や重りの位置などを工夫することで、記録が変わることを体験的に学んだ。 ・実験を通して、結果を比べて考える力を育てることができた。 ・「もっと空気抵抗を減らす方法を知りたい」「車の仕組みを知りたい」「将来、車づくりや研究に関わりたい」など、という意欲が見られた。				





4 青少年対象事業

〔2〕青年講座

講座名 タイトル		うみそら上映会実行委員会								
事業概要		有志によって結成された実行委員会が、野外イベントの演目や運営方法を企画・立案し、地域や世代を超えた幅広い人々が集う地域交流と情報交換の場である。								
現状・課題		昨今、若者の地域離れが進み、地域活動の担い手不足が深刻化している。また、少子高齢化や核家族化により、地域とのつながりが希薄になりつつある。一方で、キャリア形成のために地域活動へ参加したいと考える若者もいるが、その受け皿が十分に整っていない現状が課題である。								
事業目的 めざす姿		地域や世代を超えた多様な人々が、それぞれの得意分野を活かしながら企画・運営に携わり、実践と振り返りを繰り返すことで、自己達成感や自己有用感を養うことを目指す。 また、継続的に会議や事業を展開し、他の地域行事でも積極的に取り組む人材育成を図る。								
対象		那覇市民在住・在学・在勤の人								
募集人数等		申込：29人 参加延べ人数：175人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	
	01	5月14日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	11	2	9	
	02	6月11日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	12	2	10	
	03	6月28日(金)	17:30	～	21:00	若狭海浜公園	15	5	6	
	04	7月9日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	9	1	8	
	05	7月26日(金)	17:30	～	21:00	若狭公民館ホール	13	5	8	
	06	8月6日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	17	2	15	
	07	8月23日(金)	17:30	～	21:00	若狭海浜公園	26	8	18	
	08	9月10日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	4	1	3	
	09	9月27日(金)	17:00	～	20:30	若狭公民館ホール	14	4	10	
	10	10月8日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	10	4	6	
	11	10月25日(金)	17:00	～	20:00	若狭公民館ホール	13	4	9	
	12	11月12日(火)	19:00	～	20:30	若狭公民館第1研修室	16	5	11	
	13	3月10日(月)	19:00	～	20:00	若狭公民館実習室	15	3	12	
内容	1,2,4,6,8,10,12,13		うみそら実行委員会の指針決めや上映会の運営の打合せ等							
	6		8月6日(火)「撮影のポイント」講座							
	3,5,7,9,11		うみそら上映会in若狭海浜公園のスタッフとして運営・準備・片付け等							
【講座の様子・感想】										
・活動全体を通して明るく前向きな雰囲気があり、全体的に意欲的に取り組む様子がみられた。 ・参加者同士が互いの意見を尊重し合い、安心して発言できる関係性が築かれていた。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・実行委員会形式での企画・運営を通して、多様な参加者がそれぞれ役割を担い、野外上映会の実施まで主体的に関わる実践の場となった。 - 音楽ライブや〇×ゲーム、クリスマス上映会などを新たな企画・実施し、参加者同士の交流と場の活性化につなげた。 ・明るく肯定的な雰囲気の中で意見交換が行われ、「成長できた」「また参加したい」といった声があり、自己達成感・自己有用感の醸成につながった。										







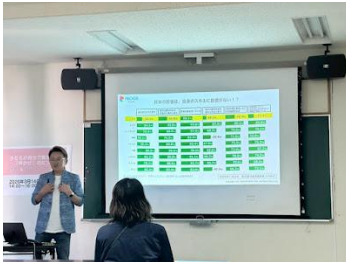
4 青少年対象事業

〔3〕放課後子ども教室

講座名 タイトル		若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」			
事業概要		子どもたちにとっての安心・安全な放課後の居場所を提供するとともに、エイサーを通じて郷土の文化・芸能にふれる機会とする。また、公民館の利用団体として地域行事にも参加し、地域の一員としての意識を育むことを目的とする。			
現状・課題		郷土芸能であるエイサーにふれる機会は年々減少傾向にあり、地域に根ざした伝統文化の継承が課題となっている。また、子どもたちの放課後の過ごし方には個人差が大きく、安心して継続的に参加できる地域活動の場が十分に確保されていない現状がある。加えて、公民館を拠点とする文化活動の継続性を高めるとともに、地域行事との連携を強化する必要がある。			
事業目的 めざす姿		エイサーの練習や発表を通じて、地域文化を体感的に学びながら、自らのルーツや地域との関係性に関心を持つ子どもたちを育てる。また、イベントへの出演や運営への関わりを通じ、地域社会の一員としての自覚と責任感を育み、将来的に地域を支える人材へと成長することをめざす。			
対 象		那覇市在住・在学の幼児～高校生			
募集人数等		定員：無し 申込：20人 参加延べ人数：1027人			
日時 場所 内容	月	回	実施(集合)場所	内容	参加人数
	4月	13	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、ネパール・ニューイヤーパーティー、海開き	177
	5月	12	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、なんみん祭	100
	6月	18	若狭公民館ホール、第一研修室	練習	79
	7月	17	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、キワニスクラブ九州ディビジョン会議	66
	8月	20	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、第29回なは青年祭	73
	9月	13	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、演舞(若狭バース)	42
	10月	14	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、若狭市営住宅自治会敬老会、令和7年度かじまや一祝い	77
	11月	17	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、第23回てんびっこ祭り、チャリティーコンサート	98
	12月	14	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、クリスマス会	63
	1月	14	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、新春もちつき大会	54
	2月	14	若狭公民館ホール、第一研修室	練習、公民館まつり演舞	83
	3月	17	若狭公民館ホール、第一研修室	練習	115
講 師		岸本麗子、上原愛			
【講座の様子・感想】					
- 子どもたちが本番に向けて一生懸命練習に取り組んでいた。 - 回を重ねるごとに動きやリズムが揃い、上達や成長が見られた。 - 年上の子が年下の子に教える場面もあり、自然な関わりが生まれていた。 					
【成果】					
- 地域行事に参加する機会が増え、地域とのつながりが深まった。 - 継続的に参加する子どもが増え、安心して集える居場所として定着しつつある。 					

5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		子どもが自分で動き出す「声かけ」のヒント								
事業概要		「教えすぎない」関わり方を手がかりに、今の時代に求められている、子どもが自ら考え、動き出す声かけを学び、子どもとのよりよい関係づくりを目指す。								
現状・課題		自立に向かう思春期の子どもと関わる保護者は、反発や無反応に戸惑い、声のかけ方に悩むことがある。子どもを取り巻く環境が変化中、保護者世代の経験だけでは対応が難しい場面も増えている。								
事業目的 めざす姿		時代の変化や子どもを取り巻く現状について理解を深め、子どもとの関わり方に対する心構えを見直すことを通して、家庭において効果的な声かけができるようになることを目指す。これにより、家庭内のコミュニケーションが円滑になり、子どもが自ら考え、やりたいことに主体的に取り組み、実現に向けて行動する力を育むことを期待する。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の思春期の子どもと関わる人、保護者								
募集人数等		定員：28人 申込：16人 （うち受講決定数16人） 参加延べ人数：16人 【申込率57%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	3月14日(土)	14:00	～	16:00	第一研修室	16	4	5	7
内容	01	①山崎暁『激変する社会。これから求められる資質とは』国がアントレプレナーシップや非認知能力を推進する背景を知る ②畑中ひらり「FROGS流、声掛けのポイントを知るワークショップ」 ③質疑応答								
講 師		株式会社FROGS 山崎暁、畑中ひらり								
【講座の様子・感想】										
・「教えすぎない関わり方」をテーマに、思春期の子どもへの声かけについて講義と具体的な事例を交えながら学んだ。子どもを取り巻く環境の変化や、子どもが自ら考え行動するための関わり方について理解を深めるとともに、日頃の家庭での関わり方を振り返る機会となった。 ・受講者からは、「つい先回りして助言してしまうことに気づいた」「子どもが考える時間を待つことの大切さを知った」「声のかけ方を少し変えてみたい」などの感想が寄せられ、子どもとの関わり方について新たな視点を得た様子がうかがえた。 ・アンケート結果（満足度）75%										
										
【成果】										
・子どもが自ら考え行動するための関わり方を具体的に考える内容となっており、事業目的に沿った学びの機会を提供することができたと考えられる。 ・家庭での声かけや関わり方を振り返るきっかけとなり、子どもとのコミュニケーションのあり方について意識の変化が見られた。 ・こうした気づきは、家庭での実践につながる第一歩であり、子どもが主体的に考え行動する力を育む環境づくりに寄与することが期待される。										
										



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		ネパール・ニューイヤー パーティー 2025/2082					
事業概要		ネパール人と地域住民が互いに住みよい環境を作ることを目的とし、ネパールのビクラム歴のお正月に交流イベントを開催する。ネパール料理の提供や民族衣装の試着、文化紹介、演舞などを通じて地域住民とネパール人が新年を祝うとともに、交流を深める。					
現状・課題		文化の違いや公共空間での規範意識の違いからおこる地域住民とのトラブルの不安を解消し、ネパール人留学生と地域住民が相互理解を深め、共に住みやすい地域社会を築くことをめざす。					
事業目的 めざす姿		文化の違いを尊重し、理解を深めることで、双方の関係を改善し、地域社会の一体感を促進する。多文化共生社会の実現に寄与する。					
対象		地域の方々・興味関心のある人					
募集人数等		定員：無し 参加延べ 591人					
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数
	01	3月28日(金)	18:30	～	20:00	若狭公民館実習室	25
	02	4月3日(木)	18:30	～	20:30	若狭公民館実習室	22
	03	4月10日(木)	18:30	～	19:30	若狭公民館実習室	9
	04	4月12日(土)	18:30	～	21:00	若狭公民館実習室/ホール	16
	05	4月13日(日)	8:30	～	12:00	若狭公民館実習室/ホール	19
	06	4月13日(日)	12:00	～	15:00	若狭公民館ホール/第2研修室/3Fロビー	500
内容	01 ～ 04	開催のための企画ミーティング、販売用の料理、パーティーの準備					
	05 ～ 06	民族衣装試着コーナー、チョータラブース（フォトランゲージ） 舞台プログラム[歌・ダンス（ネパール留学生）、歌三線、若狭松山次旗頭、創作エイサー、ネパール・沖縄の文化紹介（高校生）、オンライン多文化クイズKahoot!、フード販売（チキンカレー、モモ、チャイ）、雑貨販売（NPO法人エデンプロジェクト）					
【講座の様子・感想】							
・ネパールの方と実際に触れ合う事で、親睦を深められた事だと思います。ネパール料理の販売も、凄く良かったと思います。 ・沖縄で、ウチナーンチュや同郷の仲間と楽しく共生されているネパール人からプラスのエネルギーを頂きました。 ・アンケート結果（満足度）100% 							
【成果】							
・ネパールキッズのダンス演目や沖縄在住のネパール人主婦の方によりさまざまな世代のネパール人参加があった。 ・インドネシアの技能実習生のボランティア、ミャンマー留学生による募金ブース出店などの異文化交流も広がってきている。 ・昨年につづき出店してもらった法律・健康相談コーナーには多くのネパール人の方がおとづれ、困りごとの抽出にもつながった。 ・関係性も深まり、沖縄とネパールそれぞれが心地よく交流ながらイベントをつくりあげている。 							

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		うみそら上映会 in 若狭海浜公園								
事業概要		有志による実行委員会が企画・立案した野外上映会を、地域の多様な機関・団体と協働して開催する。近隣住民はもちろん、地域や世代を超えた幅広い参加者を対象とし、交流や情報交換の場をつくる。								
現状・課題		近年、インターネット上での犯罪や、多様な価値観の違いによるトラブルが増加し、地域社会においても人と人とのつながりが薄れつつある。このような環境の中で、地域の交流が減少し、顔の見える関係が築きにくくなっていることが課題である。特に、世代間の交流が希薄になり、地域全体で共通の価値観や信頼関係を醸成する仕組みが十分に整っていない現状がある。								
事業目的 めざす姿		野外上映会を通じて、地域の人々が顔の見える関係を築き、多世代が交流できる場を創出することを目的とする。幅広い世代の地域の方が、会場に集まり共通の娯楽を楽しむことで、人とのつながりを感じやすい環境が作り、持続可能な地域交流の基盤を築く。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員：無し 申込：1164人 参加延べ人数：1164人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	大人	子ども	
	01	5月30日(金)	19:00	～	20:30	若狭海浜公園	120	48	72	
	02	6月27日(金)	19:00	～	20:30	若狭公民館ホール	110	34	76	
	03	7月25日(金)	19:00	～	20:30	若狭海浜公園	500	28	472	
	04	8月22日(金)	18:00	～	19:30	若狭公民館ホール	200	97	103	
	05	9月26日(金)	18:30	～	20:00	若狭公民館ホール	124	84	40	
	06	10月24日(金)	18:30	～	20:00	若狭公民館ホール	110	70	40	
内容	01	開 場 時 : ギター弾き語り/チョークで遊ぼうコーナー/駄菓子屋 上演作品 : バーミトリィ/赤ずきんちゃん/「若狭海岸と波の上」/								
	02	開 場 時 : 音楽ライブ/〇×ゲーム/チョークで遊ぼうコーナー/駄菓子屋 上演作品 : かでいんま/七五三とこどもたち/海洋博へ行こう								
	03	開 場 時 : 音楽ライブ/〇×ゲーム/チョークで遊ぼうコーナー/駄菓子屋 上演作品 : 悲しみの素粒子/プルートとカメのおくりもの/遊園地								
	04	開 場 時 : 音楽ライブ/〇×ゲーム/チョークで遊ぼうコーナー 上演作品 : ふたつの階(はし)/ミッキーマウスのバンドコンサート/那覇市の風景 ※手話付き								
	05	開 場 時 : 音楽ライブ/〇×ゲーム/チョークで遊ぼうコーナー 上演作品 : 陽いづる/ミッキーマウスのキャンピングカー/エイサーと道ジュネー ※手話付き								
	06	開 場 時 : 音楽ライブ/〇×ゲーム/チョークで遊ぼうコーナー 上演作品 : 闘牛女子。/ミッキーマウスのおばけたいじ/パレードの思い出 ※手話付き								
講 師		真喜屋力(沖縄アーカイブ研究所)、東盛あいか、木村あさぎ、奥平麻衣子								
【講座の様子・感想】										
・家族と充実した時間を過ごすことができました。 ・とても楽しかったです。準備、企画がすべてボランティアなんて本当にびっくりです。 ・昔の那覇を見てとてもよかった ・会場にいる人みんなが気軽に過ごしていたから、自分も楽になれて過ごしやすかった。ムービーが面白いし見やすかったし、お菓子も美味しかった。 ・アンケート満足度87% 										
【成果】										
・9月以降に手話通訳付きの映画上映を行ったが、ろう者の方も楽しめる内容となった。 ・運営を担う高校生が主体的に取り組む姿をみせることで、地域に活力を与えることができた。 ・懐かしの映像や地域をテーマにした作品を上映することで、来場者同士の交流が生まれていた。 										



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		あけぼの・うみそら上映会								
事業概要		曙小学校区まちづくり協議会と協働し、通常は若狭海浜公園で行われる「うみそら上映会」を曙小学校で開催する。曙小学校とPTCAの協力を得て、児童に体験の機会を提供し、幅広い世代の参加を促して情報交換の場とする。								
現状・課題		曙地区では夏休みのイベントや行事が少なく、夏休み中は学校に来る機会がない子どもたちが2学期に学校に行きにくい現状に対し、PTCA、学校はとしても子どもたちが学校に来ることが楽しみになるような地域行事やイベントを作れないか模索している。								
事業目的 めざす姿		地域内外での人的ネットワークを構築し、防災活動における情報共有を促進することが、災害に強い地域社会を作る。								
対象		曙地域の方・曙小学校の児童・PTCA								
募集人数等		定員：無し 申込：122人 参加延べ人数：122人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	7月27日(土)	19:00	～	20:00	那覇市立曙小学校グラウンド	122	22	40	60
内容	01	①短編映画「bone、bone、墓音。」 ②うちなーぐちアニメ トムとジェリー「お化け屋敷」 ③16mmフィルム 「ドナルドダックと森の子リス」 ④懐かしの地域映像								
【講座の様子・感想】 ・イベント情報をたまたまオープンチャットで知った。いい講座がたくさんあると思うので、今後もたくさん情報を流してほしい。 ・沢山の親子連れが楽しんでいた。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】 ・曙小学校とPTCAの協力のもと、地域交流・多世代交流を実施した。 ・老若男女の参加があり、幅広い世代に楽しんでもらうための工夫をした。 ・PTCAと曙小学校区まちづくり協議会のメンバーが交流しながら設営段階から手伝いに参加した。 ・子どもたちと地域の方々との交流の場となった。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		第27回若狭地域文化祭								
事業概要		若狭小学校区まちづくり協議会が主体となり、地域内の団体や関係機関と連携して実施する祭。会場となる若狭海浜公園において、舞台プログラムや子ども向けのブース、各種出店などを展開し、国籍や世代を問わず多様な住民が運営および参加を通じて関わることで、地域における交流とつながりの促進を図る。								
現状・課題		地域における多世代交流は、近年やや減少傾向にある。特に、若い世代が地域の行事へ参加する機会は限られており、地域への関心や帰属意識が高まりにくい状況があった。また、高齢者にとっても、地域と関わる場が少なくなっている。一方で、地域には外国にルーツを持つ住民も一定数存在するが、日常的な接点は少なく、互いの文化を理解する機会が不足していると考えられる。こうした課題をふまえ、誰もが無理なく関われる行事を通じて、多世代・多文化が交わる場づくりの必要性がある。								
事業目的 めざす姿		文化祭を通して、若年層や高齢者、外国にルーツを持つ住民など多様な世代・文化の人々が交流し、地域への関心や愛着を高めるとともに、世代や文化を越えたつながりを広げ、持続的な地域コミュニティの形成を目指す。								
対 象		どなたでも								
募集人数等		参加延べ人数：1600人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	11月8日(土)	12:00	～	17:00	若狭海浜公園	1600	—	—	—
内容	01	○舞台発表○ 12:00～17:00 ジュニアジャズオーケストラ、ハワイアンフラ・ウクレレ、ネパールダンス、園児演舞(エイサー、ダンス、マーチング等)、エイサー、波之上獅子舞、若狭松山旗頭、那覇青少年舞台プログラム、那覇中ダンス同好会、児童館キッズダンス、琉球舞踊(玉城流翔節会)、空手、うみそら音楽隊等								
		○出展○ 12:00～売切次第終了 ちらし寿司、ネパールカレー、たこ焼き、カレー、唐揚げ、かき氷、ソフトドリンク、ビール、ハイボール、ひもくじ等								
		○こどもイベントコーナー○ 昔遊び、駄菓子屋、的当てゲーム、缶バッジづくり、バルーンアート、スポーツチャンバラ等								
		○各種ブース○ お抹茶体験、地球ハートクラブ、めぶき、Mana								
【講座の様子・感想】										
・お抹茶体験や地域団体の活動紹介など、誰でも気軽に参加体験できるようになっていた。 ・子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、交流の場となった。 ・部活動や地域の団体が出店し、資金増成として参加。 										
【成果】										
・若狭小学校区まちづくり協議会を中心に、公民館や学校、児童館、自治会、企業、NPOなど多様な団体が連携し、地域住民が主体となって文化祭を実施することができた。 ・舞台発表や出店、子どもイベント広場などを通して、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流する場となった。 - 外国にルーツを持つ住民の参加も見られ、多文化交流の機会にもつながった。 ・文化祭を通して地域のつながりや交流を深める貴重な機会となった。 										

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		うまんちゅすりてい CGG年末美化清掃 プラスONE								
事業概要		自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者、NPO、公民館利用団体および各機関が一体となり、若狭地域の公園や道路、地域の清掃活動を実施する。さらに、「プラスONE活動」として、ふるまい鍋を提供する。								
現状・課題		近年、社会環境の変化による人間関係の希薄化や、SNSの普及により、スマートフォンを通じて子どもが被害者や加害者となる事件が後を絶たず、大きな社会問題となっている。こうした状況を踏まえ、犯罪に巻き込まれない環境づくりや、豊かな心を育むための地域のつながりが十分に構築されていないことが課題である。また、若狭地域は繁華街や美しい海岸を有し、きれいに保つためにゴミ清掃を行っている個人や団体はあるものの、路地裏や空き地、公園の一角など清掃が行き届かない箇所が点在している。								
事業目的 めざす姿		地域の人々が「キレイなまちづくり」を目指して協力し合う過程で、地域内に顔見知りの関係が生まれ、「地域の子は地域で守り育てる」という共通認識の醸成につなげ、青少年の健全な育成を図る。								
対 象		若狭小学校地区の住民の人								
募集人数等		定員：無し 申込：92人 参加延べ人数：92人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	12月14日(日)	10:00	～	12:00	若狭小学校区各自治会周辺	92	33	28	31
内容	01	10:00～11:00 清掃作業								
		11:00～12:00 ふるまいナービー(豚汁)								
【講座の様子・感想】 ・作業時間は10時から11時までの1時間でしたが、草木を含めた大量のごみが集まり、地域全体がすっきりとした印象になりました。 ・小さい子は大人を真似てこみ拾いをおこない、小学生や中学生は大人とコミュニケーションをとりながら主体的に動いていました。										
【成果】 ・中学生や保護者同伴の子どもたちが、地域の大人と声をかけ合いながら活動する姿も多く見られ、「地域で子どもを見守る」というCGGの目的を、あらためて実感する時間となった。 ・清掃活動終了後の豚汁を囲って自然と会話が生まれ、参加者同士の交流の場となり、地域のつながりを深める貴重な時間となった。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル	新春もちつき大会 2026					
事業概要	地域住民が集まり、新春恒例の餅つきを通じて新年を祝うイベントを開催する。本事業では、住民同士の交流を促進し、世代を超えたつながりを深めることを目的としている。円滑な運営のために関係団体と連携し、地域の活性化と郷土文化の継承を図る。					
現状・課題	地域での世代間交流が減少し、恒例行事に触れる機会も限られている。また、運営面では関係者同士の連携や役割分担をより明確にすることで、さらに円滑に進められる可能性がある。このような状況の中で、地域のつながりを深めながら、よりスムーズな運営を目指していくことが課題である。					
事業目的 めざす姿	住民同士の交流と親睦を深めることで、豊かで潤いのある地域づくりを目指す。また、郷土文化に触れる機会を提供し、次世代への継承を促進する。					
対象	若狭小学校区地域住民の人					
募集人数等	参加延べ人数：200人					
日時 場所	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数
	1月10日(土)	10:00	～	12:00	若狭公民館玄関前	200
内容	司会：なはまちづくり部 ①開会の挨拶 (若狭公民館 館長 宮城 潤) ②旗頭演舞 (若狭・松山旗頭実行委員会) ③主催者挨拶 (若狭小学校区まちづくり協議会会長 伊地 柴基) ④激励の言葉 (那覇中青少協 会長 高良直子) ⑤新成人の挨拶 (那覇中校区 はたちの記念式典 実行委員会 実行委員長) ⑥オープニング ・合唱『一月一日』、演舞(あゆみ幼児学園園児) ・エイサー(若狭ちむどんどん太鼓) ・獅子舞(波上宮獅子舞保存会) ⑦つき始め式 ・関係者紹介 (若狭小学校区まちづくり協議会会長 伊地 柴基) (那覇市立若狭小学校 校長 照屋 謙二) (那覇中青少協 会長 高良直子) (那覇中校区 はたちの記念式典 実行委員会 実行委員長)					
【講座の様子・感想】 ・若狭小学校区まちづくり協議会と若狭公民館が協力し、多くの地域住民のみなさんが参加し賑やかな会となった。 ・那覇中学校「なはまちづくり部」をはじめ、開邦高校の生徒たち、はたちの記念式典実行委員の方が運営ボランティアとして参加。単なる「手伝い」という枠を超え、受付や案内、司会進行などを自らの役割として責任を持って担う姿が見られた。						
【成果】 ・お餅をつく人だけでなく、眺める人や立ち話を楽しむ人など、個々の距離感で心地よく混ざり合える多世代・多国籍な交流の場を実現した。 ・地域の方々が新年を共に楽しむ場を提供できた。 ・地域の新春恒例行事を通じて、住民同士のつながりを強めることができた。						







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		なは防災キャンプ' 25 春（那覇市立曙小学校）『夜の学校deお泊まりキャンプ』								
事業概要		地震や土砂災害時に避難所とされている曙小学校を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。テント泊を通して避難生活を体験することで、もしもの時に活用できるノウハウを身につける。防災かるたや能登半島被災地支援報告などをプログラムに盛り込み、親子で楽しみながら、災害時に必要な避難所や避難経路を学ぶ機会とする。								
現状・課題		実際に避難所生活を体験する機会は少なく、避難所の使い方や避難経路、災害時の行動について十分に理解されていない状況がある。特に子どもを含む家族世代が防災を自分事として考える機会が少ないことから、体験を通して防災意識を高め、地域全体で災害に備える取り組みが求められている。								
事業目的 めざす姿		避難を想定した活動を通して、避難時に必要な知識を身につけるとともに、避難者と支援ボランティア双方の役割や対応を学ぶ。学校・地域・まちづくり協議会が連携し、避難所開設・運営訓練を行い、災害時の対応力強化を図る。								
対 象		曙小学校校区の住民と生徒、その他関心のある方								
募集人数等		定員：122人 申込：122人（うち受講決定数122人） 参加延べ人数：122人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	4月2日(水)	18:30	～	20:30	曙小学校地域連携室	5	4	1	—
	02	4月26日(土)	19:30	～	20:30	曙小学校地域連携室	5	4	1	—
	03	5月17日(土)	17:00	～	22:00	曙小学校体育館	51	16	35	28
	04	5月18日(日)	7:00	～	9:30	曙小学校体育館	51	16	35	28
内容	01	事前調整会議 企画提案・プログラムすり合わせ								
	02	事前調整会議 当日の役割分担・詳細								
	03	防災かるた、夕飯、テント設営、能登半島支援報告								
	04	ラジオ体操、振り返り、片付け								
【講座の様子・感想】										
・今まで先延ばしにしていた家の防災バッグを準備することができた。実際に災害で避難する際に、今回の経験がとても役に立つと思いました。 ・避難所での模擬体験では、実際のファミリータイプのパーテーション内の広さなど知ることができた。夏の避難所の暑さを体験することで、準備すべきものなど追加で知ることができた。 ・アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
・避難所での擬似宿泊体験、防災かるた、持ち出し品シェアタイムなどを通して「体験的に学ぶ」ことができ、防災への意識・知識を自分ごととして深める設計となっていた。 ・地域・学校との連携、SNS・ブログ・チラシ等での発信によってリーダ的な層や関心層の参加を促すことができた。 ・「家族で防災について話したい」「家にあるキャンプ道具を確認したい」など、日常の中で防災を考える行動が参加者に芽生えている。 ・防災バッグの準備や家庭での防災対話を始めるなど、実際の行動への移行が複数見られた。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		なは防災キャンプ' 25 夏（那覇市立若狭小学校）『夏休み前の学校宿泊体験！』								
事業概要		普段通っている学校が災害時には地域の避難所となる可能性を理解し、実際にその場所で宿泊し翌朝登校する流れを体験することで、避難所生活と学校生活のつながりを具体的に学ぶ機会とする。さらに、6年生の授業と連動したプログラムを構築することで、児童だけでなく先生も参加し、地域と学校が連携した防災学習を目指す。								
現状・課題		若狭小学校は災害時に地域住民や児童・教職員の安全確保の拠点となる。しかし、避難所の理解や備えは地域住民や子どもたちの間でまだ十分に理解されているとは言い難い。「避難所」として学校が備蓄倉庫・非常用設備への理解も限定的であり、平時からの防災教育の機会が不足している。								
事業目的 めざす姿		自分の通う学校が災害時の避難所となることを体験し、避難行動や避難所での過ごし方を考える力を育む。地域の大人や防災の専門家と関わりながら、共助の大切さや備えを体験的に学び、防災意識の向上を図る。								
対 象		若狭小学校 小学生								
募集人数等		参加延べ人数：160人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	6月5日(木)	18:30	～	20:30	若狭小学校	5	4	1	—
	02	6月30日(月)	18:30	～	20:30	若狭小学校	5	4	1	—
	03	7月10日(金)	18:30	～	8:00	若狭小学校	50	4	3	43
	04	7月11日(土)	8:20	～	9:20	若狭小学校	50	4	3	43
	05	7月11日(土)	13:00	～	16:00	若狭小学校	50	4	3	43
内容	01	事前調整会議								
	02	事前調整会議								
	03	防災食体験、防災講話(能登半島支援)、ほしぞら観察、夜の学校たんけん								
	04	起床・集合(体育館)、ラジオ体操(グラウンド)、朝食(第2の防災食体験)、登校準備								
	05	ふりかえり学習、防災講話・総括(防災危機管理課・講師)、防災×演劇ワークショップ								
【講座の様子・感想】										
・災害時に、家族がバラバラの時でも、集合場所を決めてあつまれるようにしたいです。 ・演劇をしていろいろなことを考えさせられました。災害が起きて避難した時に自分にできることや障がいの人にできる支援を考えられた。 ・防災食では食のありがたさを知り、演劇では楽しみながら防災を知ることができた。 										
【成果】										
・災害時に「自分の身を守る」「困っている人に声をかける」といった意識が子どもたちの中に芽生えた。 ・災害時の立場や状況を演じながら学ぶことで、他者への想像力や対応力が高まった。 ・地域の大人やPTA、学校、公民館が協力し合い、防災教育を「顔の見える関係」の中で実現できた。 										

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		春休み体験スタンプラリー					
事業概要		地域の習い事教室や文化活動を行う団体を「体験スポット」とし、子どもたちが複数の体験に参加できる仕組みをつくる。参加する団体及び事業所は「体験マップ」に掲載される。					
現状・課題		近年、家庭の経済状況や関心の差により、子どもの体験機会に格差が生じている。体験機会の不足は、社会との接点や将来の選択肢を狭める要因となるが、そうした機会につながる環境や支援は十分ではない。 一方で、補助制度を持つ団体は、連携を通じて必要な家庭へ支援する役割が求められる。					
事業目的 めざす姿		子どもたちが地域の多様な活動に気軽に触れられる機会を創出し、体験活動を行う事業所との連携を通じて、体験機会を地域全体で支える仕組みの構築を目指す。 あわせて、体験格差の解消や子どもの主体的な意欲の育成、地域とのつながりの創出を図る。					
対象		若狭小学校および天妃小学校の児童生徒					
募集人数等		参加延べ人数：79人					
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数
	01	3月24日(火)	10:00	～	18:15	各事業所（教室）	22
	02	3月25日(水)	10:00	～	18:00	各事業所（教室）	21
	03	3月26日(木)	9:00	～	18:15	各事業所（教室）	36
内容	01	若狭中国武術サークル、若狭ちむどんどん太鼓、はびはび体操教室、若狭マリナーズ、若狭V.B.（バレーボール）、音楽教室On.、波之上スイミングスクール、シャイニングキッズ					
	02	天妃剣道教室、若狭ちむどんどん太鼓、若狭島うたの会、若狭SC、真形館若狭空手教室、おんがく教室 音遊戯館、波の上スイミングスクール					
	03	マリンヒーローズ沖縄、わかい書道教室、若狭ちむどんどん太鼓、はびはび体操教室、若狭マリナーズ、若狭V.B.、音楽教室音遊技館、波之上スイミングスクール					
【講座の様子・感想】 ・スタンプの獲得をきっかけに参加する子どもや、それを理由に来館する親子の姿もあり、新たな参加動機の創出につながっていた。 ・普段は接点の少ない活動にも気軽に参加する様子が見られ、「楽しかった」という声も多く聞かれた。							
【成果】 ・本事業をきっかけに、子どもが興味を持ち、そのまま教室への入会につながる事例があった。 ・体験機会の提供により、これまで参加したくてもできなかった子どもも含め、興味・関心の幅が広がり、主体的な行動が見られた。 ・参加団体からは次年度の継続実施を希望する声があり、地域における事業の有効性とニーズが確認された。							







6 その他の事業

〔2〕提案事業

講座名 タイトル	なはまちづくり部					
事業概要	中学生が地域行事やボランティア活動への参加を通して、地域の大人と関わりながら主体的に学び行動する「探究的な学び」を実践する取り組み。歴史学習や地域清掃、祭事での販売体験など多様な活動を展開し、その経験を「SDGsパスポート」に記録・可視化することで、生徒の実践力や地域への愛着を育むことを目的とする。					
現状・課題	令和7年度のコミュニティ・スクール導入を背景に、地域と学校が連携した取組が始まっているが、事業はまだ初年度で成果や効果の可視化は十分ではない。今後は地域・学校・公民館の連携体制を整え、持続可能な運営と生徒の主体的な社会参画を支える仕組みづくりが課題である。					
事業目的 めざす姿	中学生が地域活動やボランティア、祭事などへの参加を通して多様な大人と関わりながら主体的に学び行動する力を育むことを目的とする。中学生が小学生のロールモデルとなり、「地域とともにある学校」の実現を目指す。					
対 象	那覇中学校生徒					
募集人数等	申込：4人 参加延べ人数：112人					
日時 場所 内容	回	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数
	4月	15:00	～	16:00	那覇中学校	オリエンテーション
	5月	10:30	～	11:30	那覇中学校	まちづくり部発足式
	6月	9:00	～	12:00	若狭公民館	「まちを知る」勉強会！
	7月	15:00	～	16:00	マックスバリュ松山店前	「24時間テレビ48」の募金活動
	8月	15:00	～	16:00	那覇中学校	旗頭フェスタ・出店について
	9月	15:00	～	16:00	那覇中学校	報告会・出店について
	10月	15:00	～	16:00	サンエー那覇メインプレイス	赤い羽根共同募金 街頭募金活動
	11月	9:00	～	16:00	那覇市緑ヶ丘公園・那覇小学校	地域イベント出店
	12月	15:00	～	16:00	那覇中学校	CGG・クリスマスプレゼント
	1月	9:00	～	16:00	若狭海浜公園・近隣保育園・那覇中学校	もちつき大会・はたちの集い
	2月	9:00	～	16:00	若狭公民館・那覇中学校	公民館まつり・SDGsパスポート報告会
	3月	9:00	～	16:00	若狭公民館・県立図書館	次年度・部活Tシャツ作成
【講座の様子・感想】 ・中学生が地域行事や清掃活動、祭事での出店などに主体的に参加し、地域の大人と協力しながら活動する姿が見られた。 ・保育園へのプレゼント訪問では、園児や保護者と直接交流することで、自分たちの活動が地域の喜びにつながることを実感する様子が見られた。						
【成果】 ・中学生が地域行事や清掃活動、祭事での出店などに主体的に参加することで、地域社会への関心や社会参画意識の向上が見られた。 ・地域団体や学校、公民館が連携した活動を通して、生徒が多様な大人と関わる機会が生まれ、地域とのつながりを実感する場となった。 ・SDGsパスポートを活用することで、活動の記録や学びの過程を可視化することができ、生徒の自己肯定感や自信の向上につながった。						



6 その他の事業

〔2〕提案事業

講座名 タイトル	アート部2025				
事業概要	創作活動を通して自己表現の場を提供するとともに、中学生にとっての安心できる居場所づくりを目的とする。				
現状・課題	若狭公民館近隣に所在する中学校2校には美術部が設置されておらず、生徒が創作活動を行う場が限られている。自己実現や表現活動の機会が不足している現状を受け、公民館において美術部に準じた活動の場を設け、中学校2校と協働して運営を進めた。これにより、地域における持続可能な文化活動の基盤づくりを目指す。				
事業目的 めざす姿	中学生が気軽に創作活動に参加できる環境を整え、自由な表現を通じて自己肯定感を育む。また、公民館を創作拠点とすることで、地域社会とのつながりを深め、世代を超えた文化的交流の場を形成する。				
対象	那覇市在住・在学のアート好きな中学生				
募集人数等	定員：無し 申込：22人 参加延べ人数：230人				
日時 場所 内容	月	回	実施(集合)場所	内容	参加人数
	4月	6	若狭公民館第二研修室	作品制作	15
	5月	9	若狭公民館第二研修室	作品制作	25
	6月	12	若狭公民館第二研修室	作品制作	41
	7月	8	若狭公民館第二研修室	作品制作	28
	8月	3	若狭公民館第二研修室	作品制作	10
	9月	12	若狭公民館第二研修室	作品制作	43
	10月	10	若狭公民館第二研修室	作品制作	50
	11月	3	若狭公民館第二研修室	作品制作	10
	12月	1	若狭公民館第二研修室	作品制作	1
	3月	11	若狭公民館第二研修室	作品制作	7
【講座の様子・感想】 ・同じ美術に興味をもつ者同士が、絵描きを通して交流があった。					
【成果】 ・中学生の創造的な表現活動を支える受け皿としての役割を担った。 ・自由な表現の実践を通じて、参加者同士に自発的な関係性の広がりが見られた。					



6 その他の事業

〔2〕提案事業

講座名 タイトル		多文化カフェ・わかさ 2025						
事業概要		外国にルーツのある方々を支援するための居場所づくりを目的とした取り組み。単身で沖縄に来ている外国人や、言語の壁に対する課題を持つ人の他、外国人と交流したい日本人も参加している。参加者が安心して過ごせ、地域社会に溶け込むことができるよう支援することを目的とし、異文化交流の場として開催。						
現状・課題		沖縄には多くの外国人が単身で住んでおり、言葉や文化の壁、仕事の不安、経済的な問題など、さまざまな課題を抱えている。特に、日本語に課題を持つ外国人が多いものの、十分なサポートが不足している。また、精神的に辛い思いを抱える方々への支援も十分でないため、これらの課題に対応するためには、地域社会や関係機関と連携して取り組むことが求められている。						
事業目的 めざす姿		外国人が安心して生活できる地域社会をめざす。また、異文化交流を促進し、外国人と地域住民が互いに理解し合い、友人関係を築ける場を創出する。多様な文化が尊重され共に生きる、多文化共生社会の実現をめざす。						
対 象		外国にルーツのある人、外国人と交流したい人						
募集人数等		参加延べ人数：328人						
開催期間		令和7年4月から令和8年3月の毎週木曜日18:30～20:30						
日時 場所 内容	回	回	内容	参加者のルーツ	新規 参加者	参加 人数	子ども	
	4月	4	おしゃべり、言語の勉強	アメリカ、韓国、スペイン、台湾	2	29	6	
	5月	4	おしゃべり、言語の勉強	アメリカ、スペイン、台湾、ネパール、中国	5	32	4	
	6月	4	おしゃべり、言語の勉強、平和の礎読み上げ	メキシコ、スペイン、台湾、中国、韓国	9	31	3	
	7月	4	おしゃべり、言語の勉強	韓国、スペイン、台湾、中国	0	15	4	
	8月	4	おしゃべり、言語の勉強、お別れ会	スペイン、台湾、韓国、イスラエル	8	26	11	
	9月	3	おしゃべり、言語の勉強	ネパール、韓国	6	19	7	
	10月	5	おしゃべり、言語の勉強	韓国、スペイン、ペルー、台湾	3	15	12	
	11月	4	おしゃべり、言語の勉強	スペイン、韓国、アメリカ	2	13	4	
	12月	4	おしゃべり、言語の勉強	アメリカ、韓国、中国、スペイン、ペルー	1	22	4	
	1月	4	おしゃべり、言語の勉強	オーストラリア、アメリカ、韓国	2	23	0	
	2月	4	おしゃべり、言語の勉強	オーストラリア、アメリカ、韓国、ネパール、スロバキア、中国	2	20	2	
	3月	4	おしゃべり、言語の勉強	アメリカ、ペルー、韓国、中国、台湾	1	21	5	
【講座の様子・感想】 ・国という枠を越えて繋がることのできる場があるのがとても良い ・あらゆるレベルの人々が出会える良いプログラムだと思います。 ・このプログラムに感謝しています。今後も継続してほしいです。長く参加し続けたいです！ ・行く場所がないので、ここがあってよかった。他にも居場所がほしい。 ・アンケート結果（満足度）100%								
【成果】 ・様々な国から来た人々が集まり、対話を通じて異文化理解が深まっている。 ・沖縄で生活する外国人が地域社会に溶け込むきっかけとなっている。 ・居場所をきっかけに他の支援機関との連携体制がとれている。 ・外国人に関する情報が集まりやすくなっている。 ・相談事がさまざまな場所から持ち込まれ、課題解決に繋がっている。 ・帰国した方も来沖の度に遊びに来る関係性ができている。								



6 その他の事業

〔2〕提案事業

講座名 タイトル		無料英会話教室「ELIPO」			
事業概要		若狭公民館で10年以上の活動経験を持つELIPOは、困窮家庭の子供たちへゲームやアクティビティを通して、質の高い英会話教育を無償で提供しており、保護者との信頼関係を築きながら活動している。英会話を通して多様な大人と出会い、将来への指針を得ることができるきっかけづくりを目的とする。			
現状・課題		沖縄では子どもの貧困率が全国平均を上回るなど、貧困問題が依然として深刻である。その背景には低賃金や雇用の不安定さがある。改善の一つの手段として英語習得が注目されており、観光業や国際ビジネスなど職業の選択肢を広げ、所得向上につながる可能性がある。一方で、学習機会の格差や学習意欲の維持といった課題もあり、地域や学校による支援体制の充実が求められている。			
事業目的 めざす姿		・英語を通じた将来の選択肢の拡大 ・困窮家庭の子どもたちへの継続的な学習支援の充実 ・異文化理解の促進と多様な価値観の受容			
対 象		就学援助児童・ひとり親児童・生活保護世帯児童を対象			
募集人数等		参加延べ人数：290人			
日時 場所 内容	回	開始 ～ 終了	実施(集合)場所	内容	参加人数
	4月	10:00 ～ 11:00	若狭公民館 第2研修室	「Gamification」英会話	38
	5月				31
	6月				30
	7月				28
	8月				23
	9月				18
	10月				11
	11月				29
	12月				35
	1月				29
	2月				18
	3月				25
【講座の様子・感想】 「Gamification」と呼ばれる教育法でゲームを取り入れたりハロウィンやクリスマスイベント連動させたりしながら楽しくリラックスしながら英会話を学ぶ					
					
【成果】 ・子どもたちの英語力を向上することができた。 ・経済的困難を抱える家庭の学習格差・体験格差の縮小を減らすことができた。 ・キャリア意識の向上と将来設計を明確化した。					
					

6 その他の事業

〔2〕提案事業

講座名 タイトル		一品持ち寄り「朝食会」								
事業概要		平成19年度の青年の講座・交流事業参加者からの提案で始まったおかず一品持ち寄り「朝食会」は毎月一回の開催で、200回目を超えている。地域住民の主体性を生かしながら、多様な人が参加できる“ゆるい”雰囲気のもと食を囲み、地域情報の交換、多世代交流を創出する。								
現状・課題		「ゆいまーる」という相互扶助の精神が根付いていると言われる沖縄県だが、那覇市まちづくり調査2024では、共働き世帯と高齢化で「ご近所付き合いが少ない」と答える住民が46%にも上っている。特に若い世代の地域参画は少ない状況がある。また、20代～40代単身世帯率は全国でも高く、朝食を取らない層は約3割（県保健統計2023）と言われている。								
事業目的 めざす姿		誰もが気軽に立ち寄れる「朝食会」を継続することで、地域との関わりが薄い単身者や若い子育て世代が新たなつながりを持てるようになる。継続することでいつでも来れる開かれた場を担保することで、気軽に情報交換できし、地域活動に参加するきっかけとなる。								
対 象		どなたでも								
募集人数等		参加延べ人数：77人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	4月19日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館第一研修室	9	4	3	2
	02	5月31日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	22	9	6	7
	03	6月28日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	2	2	0	0
	04	7月26日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	9	3	4	2
	05	8月30日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	3	2	0	1
	06	9月20日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館ロビー	3	2	0	1
	07	10月25日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	3	2	0	1
	08	11月22日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	11	8	2	1
	09	12月27日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	4	2	1	1
	10	1月24日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	4	2	1	1
	11	3月28日(土)	8:30	～	10:30	若狭公民館実習室	7	3	3	1
内 容		お粥・おかず一品持ち寄り								
【講座の様子・感想】										
- 一度は参加してみたいと思っていました。気軽に参加できる雰囲気だから参加したいです。 - 普段は朝食を食べないことも多いけど、すごく豪華な食事でびっくりです。美味しくいただきました。 - アンケート結果（満足度）100%										
【成果】										
- 初参加の方も一緒に準備し食事をするのですぐに打ち解けることができ、地域イベントの情報交換をする姿が見られた。 - 以前から気になっていたという県外在住の方が参加するケースが何度かあった。継続することで認知度も高まっている。										





6 その他の事業

〔2〕提案事業

講座名 タイトル	公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所運営事業				
事業概要	本事業は、那覇市保護管理課の補助を受け、公民館と若狭児童館が連携し、地域に根ざした子どもの居場所を提供するものである。公民館では文化活動を通して自己肯定感を育み、児童館では日常的な見守りと支援を行う。地域や関係機関とのネットワークを活用し、子どもが安心して成長できる環境を整備している。				
現状・課題	家庭や学校以外に安心できる場を求める子どもにとって、「第三の居場所」の提供は重要な役割を果たしている。多世代との関わりを通して自己肯定感を育む効果が見られる一方、人的・物的資源の確保や支援の継続的な仕組みづくりには課題が残る。関係機関との連携強化も今後の課題である。				
事業目的 めざす姿	本事業は、子どもが地域で安心して過ごし、自らの価値を実感できる環境づくりを目的とする。文化活動や多世代交流を通じて自己肯定感を育み、公民館と児童館、関係機関が連携しながら、地域全体で子どもを育てる意識を広げ、居場所の継続的運営を目指している。				
対 象	那覇市在住・在学の幼児～高校生				
募集人数等	定員：無し 申込：20人 参加延べ人数：1152人				
プログラム	活動名	時間	対象	場所	活動内容
	地域連携会議	2か月に1回	各関係機関	若狭児童館	会議
	若狭ちむどんどん太鼓	毎週月・金 17時～18時	中学生	第2研修室	創作エイサー
	アート部	毎週火・水・木 16時～18時	小・中学生	第1研修室	絵画・工作
	夏休み体験ウィーク スタンプラリー	夏休み期間中 8/4～8/10	近隣学校の小学生	若狭地域の教育関係施設	各種習い事 体験教室
	ELIPO	毎週土曜日 10時～12時	ひとり親、 就学援助世帯	第2研修室	英会話
	ジュニアジャズ オーケストラおきなわ	毎週木 16時半～18時半 毎週日 14時～16時	小学生	ホール	ジャズの演奏 音楽を通じた居場所づくり
	ロビー利用	随時	どなたでも	ロビー	勉強・談話
	その他施設利用	随時	どなたでも	第1研修室 第2研修室	卓球・ダンス等
【講座の様子・感想】					
・アート、音楽、スポーツを通じて子どもたちに居場所を提供 ・絵画や工作、音楽演奏を通じて自己表現や協力する楽しさを体験 ・「楽しかった」「もっと続けたい」といった声が多数 ・子どもたちは居場所としての安心感を得た					
					
【成果】					
・「初めてのことに積極的に挑戦できた」 ・「仲間と関わりながら充実した時間を過ごせた」 ・情報交流を通して、地域団体それぞれの課題や現状を共有することができた					
					

7 公民館まつり

講座名 タイトル		第33回 若狭公民館まつり								
事業概要		若狭公民館で活動するサークルや団体の学習成果を、舞台発表や作品展示として発表する機会を設け、活動継続の促進を図る。あわせて団体同士の交流や横のつながりを深めるとともに、地域住民や関係団体へ広く公開することで、公民館活動への理解を広げ、地域との連携・交流を促進する場とする。								
現状・課題		公民館で活動するサークルではメンバーの高齢化が進み、舞台発表や活動継続が難しいとの声や、活動休止となる団体が増えている状況にある。そのため、新たなサークルの立ち上げや若い世代の参加促進を図るとともに、現在活動しているサークルの活性化や継続支援が課題となっている。								
事業目的 めざす姿		展示や舞台発表を通して公民館活動を広く知ってもらい、新たなサークル参加者の促進につなげる。あわせてサークル同士の交流を深め、公民館で活動することで新たなつながりが生まれる地域の交流拠点をを目指す。								
対 象		若狭公民館の定期利用サークル、地域住民、地域団体								
募集人数等		参加延べ人数：1180人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	子ども
	01	11月25日(火)	18:30	～	19:30	若狭公民館	20	10	10	0
	02	1月23日(金)	18:30	～	20:30	若狭公民館	20	10	10	0
	03	2月20日(金)	17:00	～	20:00	若狭公民館	40	20	20	0
	04	2月21日(土)	9:00	～	20:00	若狭公民館	500	130	230	140
	05	2月22日(日)	10:00	～	15:00	若狭公民館	600	150	250	200
内容	01	スケジュールや舞台・展示発表の進め方、発表調書の提出方法などについて説明								
	02	舞台発表の時間調整、展示発表の配置、必要備品や借用道具の確認								
	03	会場設営、展示スペースの準備、装飾、舞台機材の確認								
	04	舞台発表、作品展示、体験コーナー、社交ダンスパーティーなどを実施								
	05	舞台発表、作品展示、体験コーナーなどを実施								
【講座の様子・感想】										
・公民館で活動するサークルによる舞台発表や作品展示が行われ、日頃の学習成果を多くの来場者に披露する機会となった。 ・バザーや体験コーナー、読み聞かせなども実施され、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加するにぎやかな場となった。 ・来場者が多く、サークル活動を地域に知ってもらえる良い機会となった。										
										
【成果】										
・若狭公民館で活動するサークルの舞台発表や作品展示を通して、日頃の学習成果を地域住民に広く紹介する機会となった。 ・来場者と出演団体の交流が生まれ、公民館活動への理解や関心を高める場となった。 ・サークル同士の横のつながりが深まり、活動意欲の向上や新たな参加者のきっかけづくりにもつながった。 ・多世代の来場者が集い、地域と公民館活動をつなぐ交流の場として有意義な機会となった。										
										

